



空とぶペンギン

2020. 8. 28(金)
15号

放送での始業式がありました

新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、2学期の始業式は集会の形をとらず、各クラスで放送によって行いました。校長先生と福井先生からのお話を聞いて、どういう心構えで過ごしていけばいいか考えました。「不安な気持ちから差別やいじめをするのではなく、今、一人ひとりができる対策をしていく」「新たな行事を考えてくれているリーダーたちの頑張りが無駄にならないように協力していく」など素敵な感想がたくさんありました。一部を紹介します。

1組 男子

校長先生がおっしゃった「今できることをする」という言葉が心に響きました。「～だから」という言い訳ばかりで、何事からも逃げているだけではダメなんだと感じ、もう一度自分の生活を改めてみようと思いました。コロナの件では人間の本当の姿が見られた気がしました。自分を守るために、人を傷つけることを正当化しようとする人もいました。自分一人の力では難しいかもしれませんが、そういう差別や誹謗中傷を少しでも減らしていきたいなと思いました。まずは自分から、そして周り、その周りへ、そして世界へ、この思いが伝わり、協力し合う世界をつくっていききたいです。

1組 女子

コロナによっていろいろなことが例年通りではなくなっている今、別のものを考えてくれているリーダーの人や先生の頑張りが無駄にならないように、無事にやり遂げられるように、一人ひとりがマスク着用や手洗いなどしっかりしていかないといけないと思う。校長先生の話にもあったように、捉え方で変わるのであれば、私はポジティブに考え、今できることを考え続けたい。そのためにも集団の中でお互いを認め合って、意見を尊重しあって行事も進めていかなければならないと思う。今のクラスもやっぱりまだ慣れていないところもあるので行事を通してみんなともっと仲良くなれたらいいと思う。

2組 女子

始業式や先生の話聞いて、私たちの身近にもコロナウイルスが迫っていることを改めて知りました。小松市にもクラスターが出ているので、本当に気をつけなければいけないと思いました。また、コロナウイルスに感染してしまった感染者が近くにいたというだけで、誹謗中傷の声をかけられている人が多くいることがわかりました。もし自分の周りで感染者が現れたとしたら、思いたくなくても、そういう気持ちが生まれてしまうかもしれません。けれど、そんなことは口に出さず、戻ってきた仲間をあたたく迎えてあげることが大切だと思います。もしかしたら明日、自分が感染してしまうかもしれないことを頭に入れ、生活していききたいです

2組 男子

僕はコロナを治すワクチンを作るとかそういった大きなことはできないけれど、コロナにかかった人や関わりのある人に対する差別、誹謗中傷、いじめをなくすという身近なことならみんなができることだと思うのでやっていききたいです。もし自分がかかってしまったとき、友達がどんな対応をしてくれたら嬉しいのかを考えて、

そういう行動をしていきたいです。一番はやっぱりコロナにかからないことだと思うので、引き続き密を避けたりマスクの着用や手洗い、うがいなど今自分にできることを考え行動に移していきたいです。

3組 女子

始業式のお話を聞いて、私は今まで以上にコロナウイルスの感染に注意するとともに、思いやりの心が今とても必要なものなのではないかと思いました。小松市も今一番気をつけなければいけないときだと思います。不安になったりすることもあるかもしれませんが、そこから誤って感染者やかかっていない身近な人たちを差別したり、誹謗中傷することは違うと思います。そうするとコロナウイルスと言い出せない人たちが増え、さらに不安が高まります。そんな私たちに大切な事は、思いやりの気持ちをもつことだと思います。コロナで大変な中でも頑張ってくれている人たちに対して、うつる恐れがあるからと避けるのではなく、感謝の気持ちをもって過ごしていくことが、コロナウイルス収束の一步になるのではないかと思います。

3組 女子

マスク着用や手洗いうがいなど、自分にできる感染予防をしていきたいと思いました。どれだけ予防していても感染してしまうウイルスなので、感染者やその家族、また、救おうと働いている医療従事者を非難する事は絶対にしてはいけないと思いました。コロナと戦い、働いてくれている方々に、感謝の気持ちを持つことが大切だと感じました。

3組 女子

コロナの感染が広がっている中、心ない言葉をかけている人をニュースなどでよく見るようになりました。自分がコロナに感染することもすごく怖いけれど、心ない言動は良くないと改めて感じました。また、医療従事者の方々には特に感謝の気持ちを伝えたいと思いました。そして、自分がコロナにかからないためにも、大切な人にうつさないためにも、日々の行動に気をつけたいと思います。夏になってマスクが暑く感じることもあるけれど、色々な人を守るためにも大切だと思いました。これからの行動にも気をつけたいと思います。

4組 男子

世界中の人々が誰か一人でも「自分は絶対に感染しない」という考えから無責任な行動をしてしまうと、必ず周りに広がってしまうと思うので、全員がいつ感染してもおかしくないという気持ちで生活していくことが大切だと思いました。そして、誰もが感染する可能性はあるので、感染してしまった人などに対する悪口などは絶対にしてはいけないことだと思うし、自分が感染したときに周りの人にどうしてもらいたいかを考えて行動することが大切だと思います。まずは今、手洗いうがいをしたり、マスクをしたりと当たり前のことを当たり前にしていくことができると思います。手洗いうがいなどの習慣をつけておくことは、この先も大切なことだと思うので続けていきたいです。

4組 女子

校長先生がおっしゃっていた「最悪だ」と思うことも、自分にとって良いことかもしれないという話が心に残った。本当にその通りだなと思ったし、自分もそういうことが起きたら、「～よりは良い」「おかげで～できた」とポジティブに考えてみようと思った。また、感染の拡大を防止するためには、マスク、手洗い、うがいなども大切だけれど、偏見や差別などをなくすることも大切だと知った。自分も身の周りで感染者が出たら、不安になっていろいろ言うってしまうかもしれないけれど、感染するのはその人のせいではないし、噂されて良い気分になることはないので、気をつけようと思う。

